



市のプロフィール

profile of HIRAKAWA

沿革

history

縄文時代から近世にわたる遺跡が各所にあり、いたるところで先人の足跡がうかがわれます。発掘調査の結果から、この地域における稲作栽培は弥生時代中頃に始まっていたと考えられており、古来より肥沃な穀倉地帯として栄え、発展してきた経緯があります。

現在の平川市は、鎌倉時代に区分された「平賀郡（ひらかのこおり）」に属しており、津軽4代藩主信政公により、「郡（こおり）」を「庄（しょう）」と替え「平賀庄」「田舎庄」「鼻和庄」の3庄をもって「津軽郡」となり、「平賀庄」として明治新政に至るまで続きました。

明治時代の町村制施行以降「大光寺町」「柏木町」「竹館村」「町居村」「尾崎村」の2町3村が合併し昭和30年3月1日に「平賀町」が誕生、「尾上町」「猿賀村」の合併により昭和30年1月1日に「新尾上町」が誕生しました。「碓ヶ関村」は、明治22年4月1日の町村制施行により「碓ヶ関村」「古懸村」「久吉村」が合併した時から誕生し、100年を越す伝統的な村でした。

度重なる町村合併を繰り返し、平成18年1月1日に「平賀町」「尾上町」「碓ヶ関村」の2町1村が青森県10番目の市として誕生しました。

地勢

topography

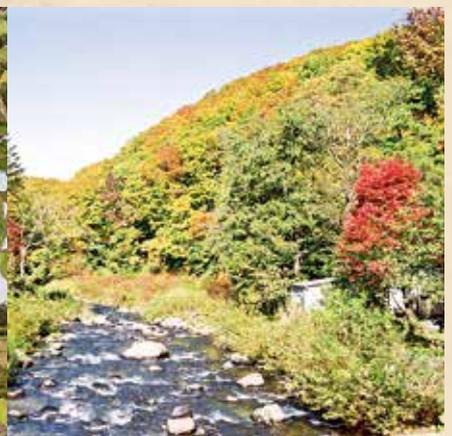
当市の地勢は、平地、台地、山地の3種類に大別されます。津軽平野の一部で市街地が形成されており、水田地帯として利用されている平地は、肥沃な沖積土で岩木川水系の平川とその支流である浅瀬石川の2つの川の恵みを受けています。緩やかな傾斜地から台地では主にりんご栽培が盛んに行われています。また、市の総面積において約7割を占める山林は、そのほとんどが国有林となっており、櫛ヶ峰（標高1,516m）を中心とした南八甲田連峰の山地には、湿原地もあり、その美しい自然環境は十和田八幡平国立公園に指定されています。山間部には川が多く、上流には溪流や数々の滝がみられます。



田んぼと電車



りんご畑と岩木山



温川溪流

位置

location

青森県南部、津軽平野の南東部に位置し、東は十和田湖を境にして十和田市、秋田県小坂町、西は平川を隔てて弘前市、大鰐町と接し、北は、青森市、黒石市、田舎館村、南は秋田県大館市に接した錨型をなしています。その総面積は346.01km²を有しています。

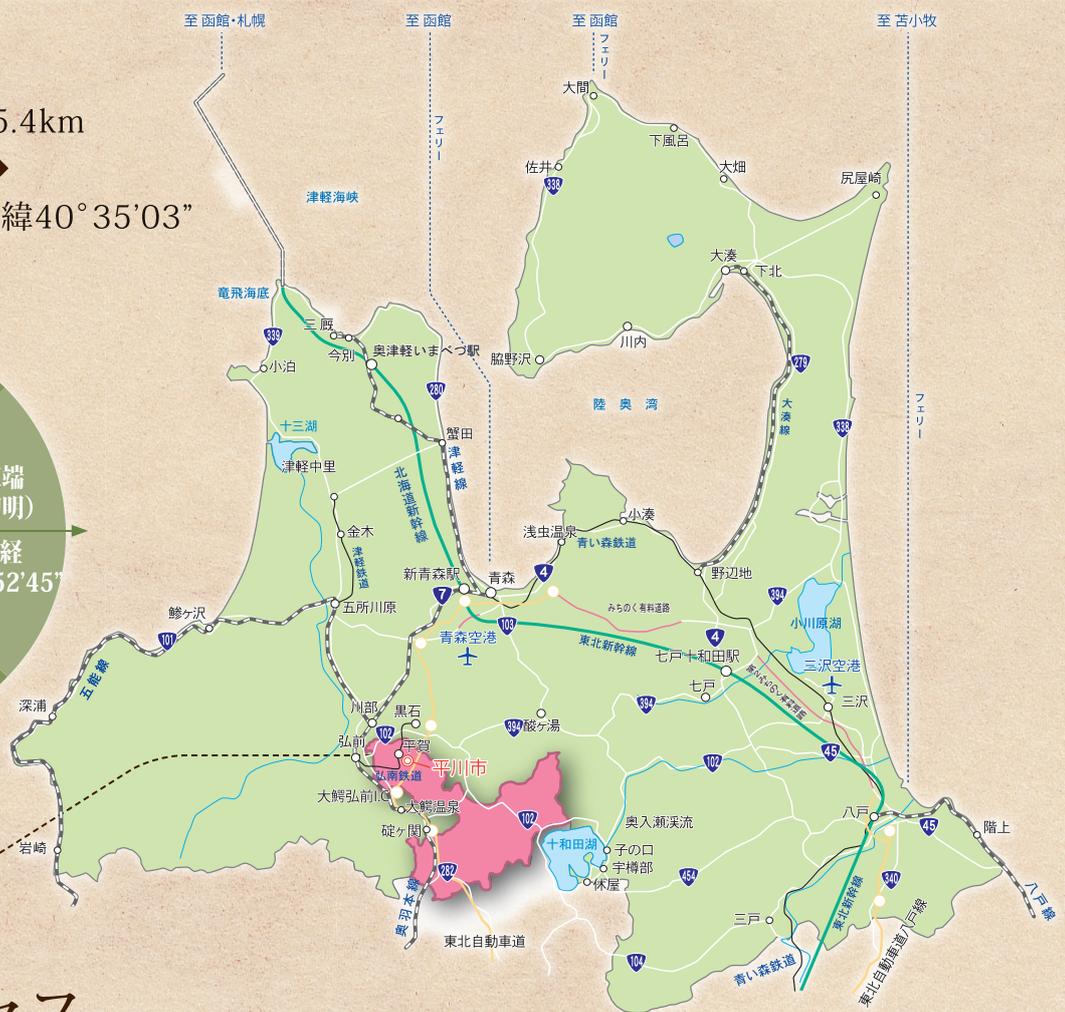
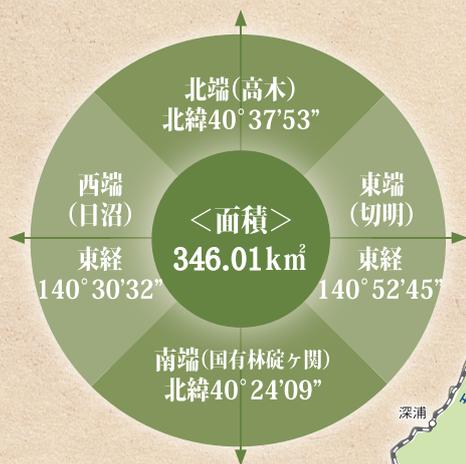
広ぼう(広がり)

東西31.3km 南北25.4km

◆市役所本庁舎位置◆

東経140°33'59" 北緯40°35'03"

海拔43m



交通アクセス

平川市役所(本庁舎)へ



羽田空港 ⇒ 青森空港 ⇒ 平川市役所 (本庁舎)
1時間20分 車で40分



東京駅 ⇒ 新青森駅 ⇒ 弘前駅 ⇒ 平賀駅 ⇒ 平川市役所 (本庁舎)
はやて・はやぶさ3時間10分 特急つがる30分 弘南鉄道弘南線18分 徒歩5分



大鰐弘前 I.C. ⇒ 平川市役所 (本庁舎)
車で10分